



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月27日

上場会社名 SBテクノロジー株式会社

上場取引所 東

コード番号 4726 URL <https://www.softbanktech.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 阿多 親市

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員CFO (氏名) 岡崎 正明 TEL 03-6892-3063

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	15,958	2.6	1,057	△2.6	1,054	△1.4	505	△21.9
2023年3月期第1四半期	15,560	3.8	1,085	19.0	1,070	21.9	646	25.1

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 557百万円(△20.2%) 2023年3月期第1四半期 697百万円(25.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第1四半期	円 銭 25.44	円 銭 25.18
2023年3月期第1四半期	32.01	31.68

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	41,032	25,000	54.3	1,121.75
2023年3月期	45,466	25,167	49.4	1,131.42

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 22,283百万円 2023年3月期 22,475百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	25.00	—	35.00	60.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,000	1.1	5,900	6.2	5,750	4.6	8,200	134.5	412.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	22,757,800株	2023年3月期	22,757,800株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	2,892,968株	2023年3月期	2,892,930株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	19,864,851株	2023年3月期1Q	20,201,538株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2023年7月27日（木）に機関投資家及びアナリスト向け決算説明会（オンライン配信）を開催いたします。決算補足説明資料は事前にTDnetで開示するとともに、当社ホームページ（<https://www.softbanktech.co.jp/corp/ir/>）にも掲載します。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	10
第1四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当期は、世界情勢に対する懸念や海外でのインフレ抑止としての利上げ影響による円安などによりエネルギー資源や物価が高騰しましたが、国内では新型コロナウイルス感染症の5類への移行によって社会経済活動も正常化へ進み、国内での経済活動は緩やかながらも活発化し景気は持ち直しの動きが続きました。

そのような中、企業は事業変革に向けデジタル技術を用いたDX推進や事業強化、働き方の変化に伴うクラウドの利活用促進、サイバー攻撃に対応するためのセキュリティ対策の拡充といった取り組みを行ってきました。これにより国内企業におけるDX投資の需要は堅調に推移してきました。

また、生成AIの一種であるChatGPTが注目を浴びる等、コスト削減や業務効率化、新たな働き方を創造するための最先端技術を活用した動きはさらに活発化しております。当社においても、マイクロソフトが提供する生成AI「Azure OpenAI Service」と連携する独自システムを開発し、2023年6月より当社従業員約1,000人が利用を開始しています。Microsoft Teams やお問い合わせ管理システムなどと連携し、業務効率化・生産性向上を推進しています。

さらに、セキュリティ対策が脆弱な部分を狙ったサイバー犯罪は依然として増加傾向にあり、政府は2023年度中に業務委託先の企業に米政府基準のサイバーセキュリティ対策を義務付けるなど、自社のみならずサプライチェーン全体でのサイバーセキュリティ対策の必要性も顕在化しています。

当社を含めたICT関連企業は、DX推進とそれに伴うセキュリティ対策の支援を通じて、大きな社会の変化に対応することが求められています。

このような経営環境の中、ICTサービス事業は堅調に推移し、前年同期と比較して各区分の業績は以下のとおりとなりました。

#### ・通信

ソフトバンク㈱向けのベンダーマネジメント案件の減少や投資抑制影響により期初想定どおり減収となったものの、システム開発の効率化が進み利益率は改善しました。

#### ・エンタープライズ

一部注力顧客グループへ深耕のためのライセンス販売により利益率は低下したものの、製造業を中心とした注力顧客におけるクラウド開発案件や自社サービスのマネージドセキュリティサービスが順調に伸長したことにより増収増益となりました。

#### ・公共

農林水産省向けの電子申請案件やデジタル地図案件、また自治体情報セキュリティクラウドといった各大型案件が運用フェーズに入り売上の季節変動も少なくなったことから売上が伸長し、また利益率も改善したことから増収増益となりました。

#### ・個人

ECサイト運営代行において㈱ノートンライフロックとの契約変更による影響により減収減益となっておりますが、期初想定どおりに推移しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、以下のとおりとなりました。

(百万円)

	前年同期	当第1四半期	増減	増減率
売上高	15,560	15,958	397	2.6%
売上総利益	3,405	3,693	287	8.4%
販売費及び一般管理費	2,320	2,636	315	13.6%
営業利益	1,085	1,057	△28	△2.6%
経常利益	1,070	1,054	△15	△1.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	646	505	△141	△21.9%
EBITDA(注)	1,494	1,505	11	0.7%
1株当たり 四半期純利益	32.01円	25.44円	△6.58円	△20.5%

(注) EBITDA＝営業利益＋のれん償却費（販売費及び一般管理費）＋減価償却費

なお、当社の報告セグメントは「ICTサービス事業」の単一セグメントとしておりますが、「ICTサービス事業」を構成する各マーケットの内容及び業績については、P.6の「区分の説明」をご参照ください。

#### ＜ 第4次中期経営計画の進捗 ＞

当社グループは、2023年3月期～2025年3月期の3年間を対象期間とした第4次中期経営計画を定め、取り組みを進めています。

#### ①経営の基本方針

当社グループは、「情報革命で人々を幸せに～技術の力で、未来をつくる～」ことをミッションに掲げ、多様な働き方と挑める環境で先進技術と創造性を磨き、社会に新しい価値を提供し続ける企業を目指しております。そしてこの経営理念の下、「日本企業の競争力を高めるクラウドコンサル&サービスカンパニー」となることを長期ビジョンとして定めております。

また、当社グループは持続可能な社会の実現に向け、事業・企業活動を通じてさまざまな社会課題に取り組んでおり、サステナビリティ活動を推進するためのテーマとして6つのマテリアリティ（重要課題）を特定しました。

サステナビリティとマテリアリティの詳細については、当社ホームページをご参照ください。

<https://www.softbanktech.co.jp/corp/sustainability/>

当社グループは、ICTサービスの提供を通じて豊かな情報化社会の実現に貢献してまいります。

## ②重点テーマ

第4次中期経営計画における重点テーマの進捗は以下のとおりです。

### 〈 3つの重点テーマ 〉

- ・顧客のDXを支援するセキュリティ&運用サービスの提供（押し上げる力）
- ・顧客の変革を実現するデータを活用した共創型DXの推進（引き上げる力）
- ・DX人材の育成・創出のためのコンサルティング&IT教育（推進する力）

お客様のDXを推進するためにはシステム基盤や社内環境がセキュアであることが重要となります。セキュリティの重要性はますます拡大するものの、国内全体でセキュリティ分野に関する人材が不足しており、各企業で優秀なセキュリティ人材を確保することは困難な状況となっております。そこで当社は、お客様のセキュリティ運用を支援する「MSS for 脆弱性管理（VRM）」の提供を開始しました。国内においては、意図せず外部公開されているIT資産や、適切な脆弱性対策が行われずシステムの脆弱性を悪用された結果、サイバー攻撃の被害に遭うケースが頻発しております。そのため、適切なセキュリティ対策の基盤として包括的かつ継続的に資産管理を行う必要がありますが、管理対象となるIT資産が増え管理が煩雑になることや専門的な知識や経験を持った担当者が日常的なチェックが必要になるなどの課題があります。当社はこれらの課題を解決するためこれまで培ってきたシステムやセキュリティ運用の知見を活かし、管理対象のIT資産と脆弱性情報を収集・可視化、優先順位付けの自動化及び検出された脆弱性の一元管理を実現し、お客様の効率的な脆弱性管理を支援してまいります。

また、DXの高度化にはセキュアな基盤に蓄積された社内データの活用が重要となります。当社は、2023年4月に龍谷大学とともに農学分野の日本産業デジタル化・高付加価値化をけん引する高度専門人材育成の実現に向けた取り組みを行いました。学生自身が自由にデータにアクセスでき、分析・活用を可能にするデータ分析基盤を開発し、データ活用における収集、可視化、分析までを含めた総合的な支援を行いました。さらに、当社社内でのデータ活用においても、生成AIの一種である Azure OpenAI Service と連携する独自システムを開発し、2023年6月より当社従業員約1,000人が利用を開始しています。独自開発したシステムは、Microsoft ソリューションにおける豊富な開発実績を応用したビジネスロジックが組み込まれており、さまざまな業務アプリケーションやデータベースを容易に拡大・追加できる拡張性の高いシステム構成を実現しています。社内で利用する Microsoft Teams やお問い合わせ管理システムなどと連携し、業務効率化・生産性向上を図っています。これまでに培った Microsoft ソリューションの技術力や、クラウドを安全に利用するためのセキュリティの知見に加え、今回の社内利用で得られたノウハウをもとに、Azure OpenAI Service を活用したサービスの開発に着手し、お客様のDX実現に向けて貢献してまいります。

## ③目標とする経営指標

2023年7月19日に発表した「連結子会社の異動（株式譲渡）、特別利益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」に伴い、第4次中期経営計画の最終年度の経営指標の一つである「営業利益80億円」を「営業利益71億円」へ変更することといたしました。なお、「営業利益率9%台」「クラウド・セキュリティ&サービス売上高500億円超」を目指すことについては変更ありません。

引き続き第4次中期経営計画において、クラウド・セキュリティ&サービスの提供を通じてお客様の事業成長に貢献し、当社グループの事業拡大と企業価値のさらなる向上を図ってまいります。

## 〈 サステナビリティへの取り組み 〉

ソフトバンクグループは「情報革命で人々を幸せに」という経営理念の下、世界の人々が最も必要とするサービスやテクノロジーを提供する企業グループとなるために、デジタルの社会実装を推進することで、あらゆる社会課題の解決を目指しています。また、ソフトバンクグループは脱炭素社会の実現を目指し、グループ全体の事業活動に伴う温室効果ガス排出量を2030年度までに実質ゼロにする「2030年度カーボンニュートラル達成」をグループ目標として設定しております。当社においても、社会課題への取り組みを重要な経営課題と認識しており、2030年度カーボンニュートラル達成の実現に向けて、取り組みを推進してまいります。

環境への取り組みにおいては、「クラウド」「セキュリティ」の強みを活かすことが重要であると考えております。マテリアリティの「クラウドを活用した、地球環境への貢献」では、電気効率の高いデータセンターで提供されるクラウドサービスの活用を推進することで、温室効果ガスの排出削減への貢献に取り組みます。また、マテリアリティの「先進技術による、アクセシビリティ促進とデータ利活用推進」では、お客様のDX推進及び安全性の高いデータ利活用によって、温室効果ガス排出量、消費電力など環境関連データの可視化を通じて、温室効果ガス削減やエネルギー効率化の支援を行います。

当社は、「2030年度カーボンニュートラル達成」という目標の下、グループ全体で温室効果ガス排出量の削減に取り組み、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。そして、6つのマテリアリティ解決に向けてサステナビリティ経営を推進し、社会へ新たな価値を提供し続けることで、持続的成長を実現してまいります。

〈 区分の説明 〉

当社の報告セグメントは、「ICTサービス事業」の単一セグメントとしており、「ICTサービス事業」を構成する主要な区分の内容及び業績については、次のとおりです。

また、各区分の前年同期の金額は現在の計上方法に則して算出しております。

区分	主な内容	主な事業会社の名称
通信	<p>〈 通信会社向け 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンプレミス（プライベートクラウド含む）のシステム構築/運用保守</li> <li>・クラウドコンサルティング/移行支援/構築/運用</li> <li>・セキュリティ運用監視サービス 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SBテクノロジー(株)</li> <li>・(株)電縁</li> </ul>
エンタープライズ	<p>〈 一般事業者向け 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドコンサルティング/移行支援/構築/運用/IT教育サービス</li> <li>・AI・IoT・DXソリューション</li> <li>・セキュリティコンサルティング/導入支援/運用監視サービス</li> <li>・電子認証ソリューション 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SBテクノロジー(株)</li> <li>・M-SOLUTIONS(株)</li> <li>・(株)環</li> <li>・サイバートラスト(株)</li> <li>・アイ・オーシステムインテグレーション(株)</li> </ul>
公共	<p>〈 官公庁・自治体向け 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウド移行支援/構築/運用/IT教育サービス</li> <li>・AI・IoT・DXソリューション</li> <li>・セキュリティコンサルティング/導入支援/運用監視サービス 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SBテクノロジー(株)</li> <li>・アソラテック(株)</li> <li>・リデン(株)</li> </ul>
個人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ECサイト運営代行</li> <li>・フォントライセンスのEC販売 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SBテクノロジー(株)</li> <li>・フォントワークス(株)</li> </ul>

(百万円)

		前年同期	当第1四半期	増減	増減率
通信	売上高	5,079	3,669	△1,409	△27.8%
	売上総利益	797	660	△136	△17.1%
	利益率	15.7%	18.0%	2.3ポイント	—
エンタープライズ	売上高	7,021	7,862	840	12.0%
	売上総利益	1,762	1,883	121	6.9%
	利益率	25.1%	24.0%	△1.1ポイント	—
公共	売上高	2,374	3,403	1,028	43.3%
	売上総利益	147	468	321	217.8%
	利益率	6.2%	13.8%	7.6ポイント	—
個人	売上高	1,084	1,023	△61	△5.7%
	売上総利益	699	679	△19	△2.8%
	利益率	64.5%	66.4%	1.9ポイント	—
計	売上高	15,560	15,958	397	2.6%
	売上総利益	3,405	3,693	287	8.4%
	利益率	21.9%	23.1%	1.2ポイント	—



## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(百万円)

	前期末	当第1四半期末	(参考) 前第1四半期末
総資産	45,466	41,032	39,429
純資産	25,167	25,000	23,007
自己資本比率	49.4%	54.3%	52.3%

## (資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末より4,433百万円減少して41,032百万円となりました。流動資産は、受取手形、売掛金及び契約資産の減少などにより、前連結会計年度末より4,036百万円減少しました。

固定資産は、繰延税金資産の減少などにより、前連結会計年度末より395百万円減少しました。

## (負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末より4,265百万円減少して16,032百万円となりました。

流動負債は、買掛金の減少などにより、前連結会計年度末より4,113百万円減少しました。

固定負債は、長期借入金の減少などにより、前連結会計年度末より152百万円減少しました。

## (純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、利益剰余金の減少などにより、前連結会計年度末より167百万円減少して25,000百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年7月19日に「連結子会社の異動(株式譲渡)、特別利益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」で発表したとおり、2023年4月27日に発表しました2024年3月期の連結業績予想を下記のとおり修正しております。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	69,000	6,400	6,350	3,950	197.68
今回修正予想(B)	68,000	5,900	5,750	8,200	412.79
増減額(B-A)	△1,000	△500	△600	4,250	—
増減率(%)	△1.4	△7.8	△9.4	107.6	—
(ご参考) 前期実績(2023年3月期)	67,227	5,557	5,499	3,497	175.03

2023年4月27日に発表した2024年3月期通期の連結業績予想につきまして、フォントワークス㈱が連結対象から外れることにより、2023年10月以降の業績が見込まれなくなったことに加え、本件譲渡に伴い計上予定の特別利益の影響により、上記のとおり修正いたします。なお、事業面での今後の動向は引き続き精査中であります。

また、当期配当につきましては、2023年4月27日に公表した配当予想から変わらず、前期と同額の1株当たり年間配当金60円の普通配当とし、中間配当金30円、期末配当金30円を予定しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,221	12,935
受取手形、売掛金及び契約資産	24,133	13,402
商品	131	187
その他	3,136	5,060
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	35,622	31,585
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	684	665
工具、器具及び備品（純額）	991	959
その他（純額）	5	34
有形固定資産合計	1,681	1,659
無形固定資産		
のれん	836	708
ソフトウェア	2,531	2,445
ソフトウェア仮勘定	476	644
顧客関連資産	189	171
その他	86	79
無形固定資産合計	4,120	4,048
投資その他の資産		
投資有価証券	667	670
繰延税金資産	1,297	1,017
その他	2,075	2,051
投資その他の資産合計	4,040	3,738
固定資産合計	9,842	9,446
繰延資産		
株式交付費	1	0
繰延資産合計	1	0
資産合計	45,466	41,032

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,020	3,785
1年内返済予定の長期借入金	309	339
リース債務	14	12
未払金	4,493	4,453
未払法人税等	1,372	135
契約負債	2,186	3,043
賞与引当金	1,784	614
役員賞与引当金	—	31
受注損失引当金	626	660
瑕疵補修引当金	39	6
その他	742	1,394
流動負債合計	18,590	14,477
固定負債		
長期借入金	489	380
リース債務	81	78
契約負債	670	626
退職給付に係る負債	60	62
資産除去債務	336	337
その他	69	69
固定負債合計	1,708	1,555
負債合計	20,298	16,032
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,270	1,270
資本剰余金	1,613	1,610
利益剰余金	22,182	21,992
自己株式	△2,600	△2,600
株主資本合計	22,466	22,272
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	3
為替換算調整勘定	5	6
その他の包括利益累計額合計	9	10
新株予約権	320	340
非支配株主持分	2,371	2,376
純資産合計	25,167	25,000
負債純資産合計	45,466	41,032

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	15,560	15,958
売上原価	12,154	12,265
売上総利益	3,405	3,693
販売費及び一般管理費	2,320	2,636
営業利益	1,085	1,057
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2	1
持分法による投資利益	—	3
確定拠出年金返還金	0	1
為替差益	—	1
雑収入	6	3
営業外収益合計	9	11
営業外費用		
支払利息	2	1
持分法による投資損失	1	—
寄付金	10	10
為替差損	10	—
雑損失	0	2
営業外費用合計	24	13
経常利益	1,070	1,054
特別利益		
新株予約権戻入益	7	—
特別利益合計	7	—
特別損失		
労災解決金	—	70
のれん償却額	—	63
特別損失合計	—	133
税金等調整前四半期純利益	1,077	921
法人税、住民税及び事業税	64	86
法人税等調整額	316	279
法人税等合計	380	366
四半期純利益	696	555
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	646	505
非支配株主に帰属する四半期純利益	49	50
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	1	1
その他の包括利益合計	1	1
四半期包括利益	697	557
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	648	506
非支配株主に係る四半期包括利益	49	50

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(連結子会社の株式及び無形固定資産の譲渡)

当社は、2023年7月19日付の取締役会決議によって、当社の連結子会社であるフォントワークス(株)の全株式をMonotype(株)に譲渡（以下「本株式譲渡」）すること、及びフォントワークス(株)の事業に係る無形固定資産をMonotype Imaging Inc.に譲渡（以下「本資産譲渡」といい、本株式譲渡と併せて「本件譲渡」と総称）することについて決議いたしました。これによりフォントワークス(株)は当社の連結子会社から除外されます。

## 1. 本件譲渡の概要

## (1) 本件譲渡の理由

当社グループは「大きく成長する」ことを経営方針に掲げ、2013年6月に、デジタルフォント（書体）の企画・開発・販売及びソフトウェアの開発、テクニカルサービス、OEM等の提供を行うフォントワークス(株)を連結子会社化しました。フォントワークス(株)は当社グループのEC領域の事業拡大に貢献してまいりましたが、デジタルフォント事業やEC領域における当社とのシナジーによる事業成長は一巡し、また当社グループの戦略は「クラウド・セキュリティへの注力」へシフトしております。このような状況の中、フォントワークス(株)のさらなる成長とグローバル展開も含めた事業シナジーを追求できる環境として、Monotype Imaging Inc.及びMonotype(株)の下での事業運営が双方にとって有益であると判断し、本件譲渡に合意したものであります。

## (2) 異動する子会社

商号	フォントワークス株式会社
所在地	東京都港区北青山3丁目2-4 日新青山ビル5階
事業内容	デジタルフォント（書体）の企画・開発・販売及びソフトウェアの開発、テクニカルサービス、OEM等

## (3) 本株式譲渡の相手先

商号	Monotype株式会社
所在地	東京都千代田区五番町1-9 MG市ヶ谷ビル5階
事業内容	1. フォント、プリンタドライバ、カラーイメージング等の画像処理に係るソフトウェアの販売、輸出入、管理、保守、指導 2. 前号に付帯関連する一切の業務

## (4) 本資産譲渡の相手先

商号	Monotype Imaging Inc.
所在地	600 Unicorn Park Drive, 4th Floor, Woburn, MA 01801
事業内容	1. フォント、プリンタドライバ、カラーイメージング等の画像処理に係るソフトウェアのデザイン、開発、販売、輸出入、管理、保守、指導 2. 前号に付帯関連する一切の業務

## (5) 譲渡株式数、譲渡価額及び譲渡前後の所有株式の状況

異動前の所有株式数	200株（議決権の数：200個、議決権所有割合：100%）
譲渡株式数	200株（議決権の数：200個）
譲渡価額	本株式譲渡価額及び無形固定資産の譲渡価額については、本件譲渡契約書における守秘義務を踏まえ、開示を控えさせていただきますが、本件譲渡の相手先における株式及び無形固定資産の価値算定を踏まえた交渉により決定しております。
異動後の所有株式数	一株（議決権の数：一個、議決権所有割合：-%）

## (6) 日程

取締役会決議日	2023年7月19日
譲渡契約締結日	2023年7月19日
譲渡実行日	2023年9月1日（予定）

## 2. 特別利益の計上

本件譲渡によって、2024年3月期第2四半期連結会計期間において、子会社株式売却益及び無形固定資産の譲渡益6,200百万円（概算）を特別利益に計上する予定です。